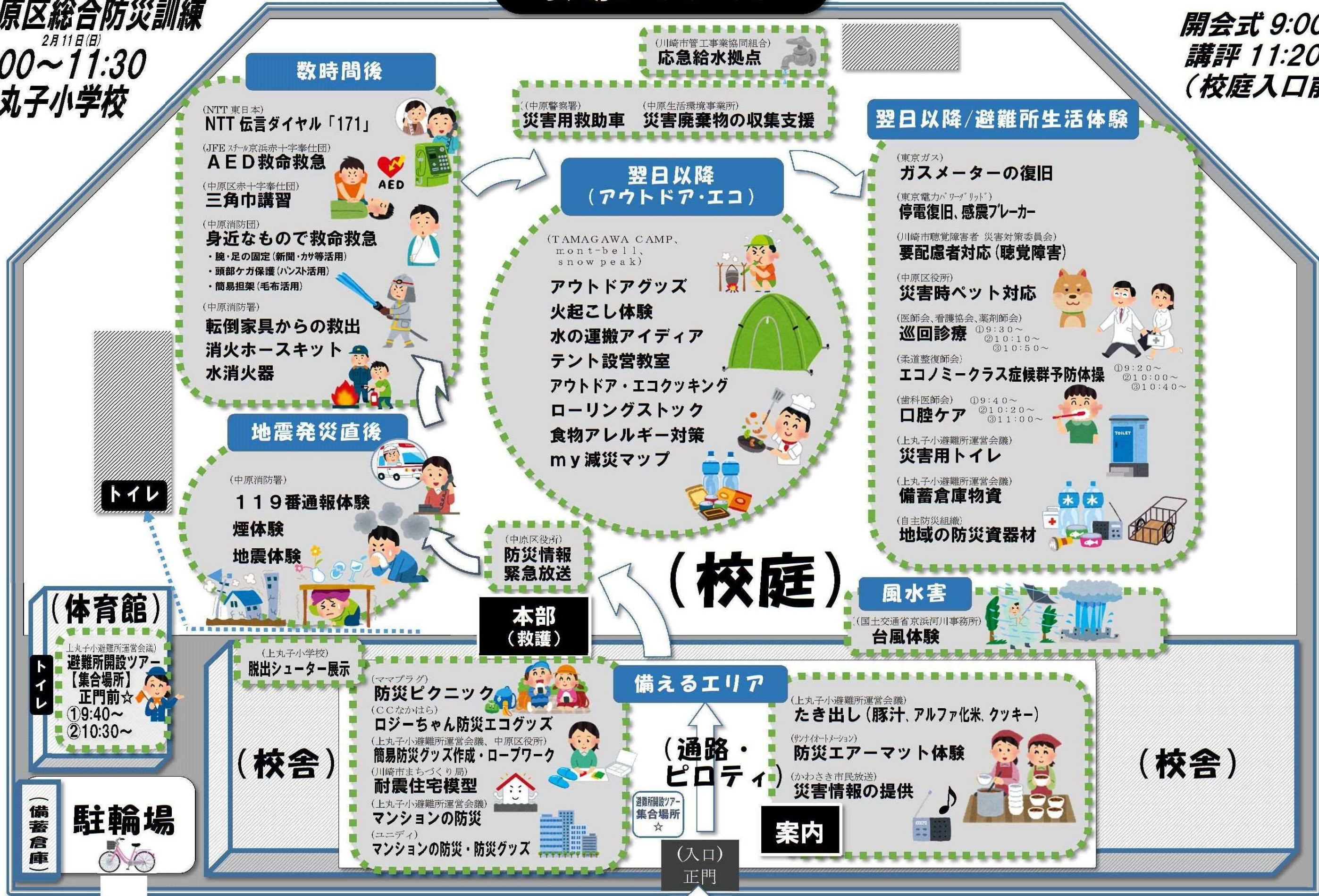


会場レイアウト

中原区総合防災訓練
2月11日(日)
9:00~11:30
上丸子小学校

開会式 9:00~
講評 11:20~
(校庭入口前)

(網島街道)



数時間後

(NTT 東日本)
NTT 伝言ダイヤル「171」

(JFE スクール京浜赤十字奉仕団)
AED救命救急

(中原区赤十字奉仕団)
三角巾講習

(中原消防団)
身近なもので救命救急
・腕・足の固定(新聞・カガ等活用)
・頭部ケガ保護(ハンスト活用)
・簡易担架(毛布活用)

(中原消防署)
転倒家具からの救出
消火ホースキット
水消火器

応急給水拠点

(川崎市管工事業協同組合)
応急給水拠点

(中原警察署) 災害用救助車
(中原生活環境事業所) 災害廃棄物の収集支援

翌日以降 (アウトドア・エコ)

(TAMAGAWA CAMP、mont-bell、snow peak)

アウトドアグッズ
火起こし体験
水の運搬アイデア
テント設営教室
アウトドア・エコクッキング
ローリングストック
食物アレルギー対策
my 減災マップ

翌日以降/避難所生活体験

(東京ガス) ガスメーターの復旧
(東京電力パワーグリッド) 停電復旧、感震ブレーカー
(川崎市聴覚障害者 災害対策委員会) 要配慮者対応(聴覚障害)
(中原区役所) 災害時ペット対応
(医師会、看護協会、薬剤師会) 巡回診療
①9:30~
②10:10~
③10:50~
(柔道整復師会) エコノミークラス症候群予防体操
①9:20~
②10:00~
③10:40~
(歯科医師会) ①9:40~
②10:20~
③11:00~
(上丸子小避難所運営会議) 災害用トイレ
(上丸子小避難所運営会議) 備蓄倉庫物資
(自主防災組織) 地域の防災資器材

地震発災直後

(中原消防署) 119番通報体験
煙体験
地震体験

防災情報緊急放送

本部 (救護)

(校庭)

風水害

(国土交通省京浜河川事務所) 台風体験

(体育館)

上丸子小避難所運営会議
避難所開設ツアー
【集合場所】正門前☆
①9:40~
②10:30~

脱出シューター展示

(校舎)

(ママブラグ) 防災ピクニック
(CCなかはら) ロジーちゃん防災エコグッズ
(上丸子小避難所運営会議、中原区役所) 簡易防災グッズ作成・ロープワーク
(川崎市まちづくり局) 耐震住宅模型
(上丸子小避難所運営会議) マンションの防災
(ユニディ) マンションの防災・防災グッズ

備えるエリア

(通路・ピロティ)

避難所開設ツアー集合場所 ☆

(上丸子小避難所運営会議) たき出し(豚汁、アルファ化米、クッキー)
(サンイートメーション) 防災エアーマット体験
(かわさき市民放送) 災害情報の提供

案内

(校舎)

(備蓄倉庫) 駐輪場

(入口) 正門

当日の様子 (写真)



開会式



かわさきFM 災害情報



マンションの防災・防災グッズ



NTT 伝言ダイヤル171



災害用救助車 (警察)



災害廃棄物収集支援



マンションの防災 (地域の活動)



ロープワーク



簡易グッズ作成 (新聞紙スリッパ、紙箱)



応急給水拠点設置



火おこし体験



アウトドア・エコクッキング



耐震住宅模型



炊き出し (豚汁、α化米、クッキー)



ロージーちゃんの防災エコグッズ



校舎脱出シューター



アウトドアグッズ・テント



避難所開設手順確認ツアー (聴覚障害)



防災エアマット体験



防災ピクニック (ママブラグ)



本部・啓発資料配布・緊急放送試聴



東京ガス (ガスメーター復旧)



東京電力 (停電復旧)



要配慮者対応 (聴覚障害者)



地震体験



煙体験



119 番通報体験



ペット対応



巡回診療



エコミークラス症候群予防体験



水消火器体験



消火ホースキット組立・放水



転倒家具からの救出



口腔ケア



災害用トイレ



避難所倉庫備蓄品の紹介



身近なもので救命救急



三角巾講習



AED 救命講習



自主防災組織の備蓄物資紹介



台風体験



消防署長講習

◆中原区総合防災訓練(上丸子小学校)の気づいた点メモ(視察に参加した委員及び委員の所属する団体の参加者からの集約分)

印象に残った内容や訓練・内容とその理由・感想など	アイデアや意見・疑問点	その他・気付いた点など
<p>今回、風水害を想定した台風体験が目を引きました。参加する年代も子どもから大人まで幅広い世代がいたことで、それぞれの視点から防災について考えるものがあったと思います。様々な災害シミュレーションを取り入れることや気軽に誰でも会場に足を向けることができるオープンな雰囲気を感じました。</p>	<p>避難所開設ツアーについて、前回の防災訓練よりもさらに平易で理解しやすいものだっただけに、より多くの人に参加の機会があれば良いのではないかと思います。予め広報でツアー予定時間や集合場所、主な内容を知らせること。内容についても、近年の転入世帯が増加していることを踏まえて、開催場所の地域性により、どのような災害を一番予想して対応しているかなどの特徴がわかると、なお有効ではないかと思いました。また、人気の炊き出しコーナーですが、食数に限りがあるようなので、例えばスタンプラリーカードのように場内のブースを何か所か回って所定の数のスタンプをもらったら食事の提供を受けられるようにしてはどうでしょうか。</p>	<p>前回の大戸小学校での開催に比べて、入口の会場掲示がわかりやすかった反面、何か所かある他の通用口で迷われている方も見かけました。正面口への誘導があれば良かったと感じます。</p>
<p>避難所開設ツアーに参加して良かったです。介護用トイレ、授乳室等もできており、いざという時に役立つと思った。避難所も講堂に160人ぐらいしか入れないので、それぞれが食料や日用品等は備蓄しておくことは大事であると思った。(自助)</p>	<p>仮設トイレ(災害用)は必要であり、自分でも用意しておこうと思った。</p>	<p>防災訓練の時に思うのが、参加する人が少ないと思う。近隣の人にぜひ参加してもらえるように工夫し、PRをした方が良いと思いました。</p>
<p>起震車体験: 立ったまま手すりを持つての体験で、揺れの大きさは自分で考えていた大きさをはるかに超えていました。 風水害車体験: 雨量と風速を徐々に強める「台風」? を初めて体験した。今回は貸与された帽子やかっぱを着用して短時間の体験であったが、家庭での装備品に風水害関係を見直さなければと思いました。</p>		
<p>・ロープ結びは人助けになるとのことで役立つ。 ・簡易トイレはダンボールの空き箱やポリバケツに二重のビニール袋を使用しての簡単な仕方でこちらもいざ! という時に役立つ。 ・体育館内でブルーシートに白テープで1人分190センチはちょっときつい感じがするが災害時はしかたがないとはいえず少々苦痛。 ・起震車を体験したが震度7はとても恐怖でした。 上記の体験はとても役立つが、これらが必要でないことを願います。</p>	<p>各町会の方々も参加して町会の方々に防災訓練を実施してほしい。</p>	<p>大戸小や上丸子小でも感じたが、倉庫の備蓄品が大変少ないと思う。各家庭で最小限3日分は備蓄しておかないと。自家では食料品は3日分は十分あると思うが、水は少ないので補充しておかないと思う。防災訓練はこれからもお願いしたいです。</p>
<p>トイレのコーナーでボックストイレやマンホールトイレを初めて聞いたので、役立つ情報だと思います。そして地震体験により、震度5強以上がそんなに揺れるのを実感できて家の中で壊れやすい物を事前にしっかりと固定するよう心がけます。</p>	<p>人工呼吸のやり方等を勉強したいと思います。</p>	
<p>避難所開設ツアー: 細かい説明、特に仮設電話の設置方法やFAXが必要等、前回の避難所開設時の反省や必要事項を模造紙に記入後、取っておいてそれをまた貼り、再利用している等、細かい活動をしている。</p>	<p>区民会議のブースが欲しかった。情報交換したり感想など意見交換したかった。</p>	
<p>毎回、備蓄状況を確認し、自宅での備蓄の必要性を再認識できる。</p>	<p>せっかく知識や技術を得られる素敵なものを開催するにもう少し一般の方々の来場があれば良いと思います。学校から児童・生徒へ、防災の必要性をお伝えしているはずなのに、いつ起こるか分からない災害、“生き残り、大切な人を守る術”危機感はいつも持っていないでよいから、いざという時の自分のマニュアルを打ち立てておくことが大切、。楽しく学ぶ、学びたい気持ちと呼ぶ。ネーミング広報など。</p>	<p>・通りがかかる親子が興味を示すものの、入って良いのかわからない姿がみられた。 ・開催時間が一般的なお休みの日の動きからみると少し早く感じられた。 ・脱出シューターが実際使用できるか不安。試用できないのは片づける費用がかかってくるからでしょうか?</p>
<p>・機材が大きくて良くわかりました。 ・簡易トイレの作り方が便利で良かったです。</p>		<p>避難所の受付方法がもっと知りたかったです。</p>
<p>いろいろな人々が防災について考えていると感じました。実際に煙体験すると驚く。3階から下りてくるシューターは少し危険であるような。</p>	<p>備蓄品も期限などがあり、変えなくてはいけないので大変であると思う。自助で普段から備えるべき。</p>	<p>備蓄品も500個、体育館で500名の人しか寝られないとなると避難所としてもなかなか厳しい現実であると感じます。</p>
<p>・ツアーの説明はとてもわかりやすくて良かった。 ・防災マニュアルに沿って丁寧に訓練されていると思った。(各班の意見をまとめた模造紙が良いと思う。) ・新しい校舎なのでエネルギー面や水のフォローも良くできていて安心できる。 ・障害者や弱者への配慮も工夫されていて良かった。 ・体操など長期にわたる避難所のコミュニティづくりにも役に立つと思った。 ・ダストシューターは体験してみないと怖いので日頃から訓練した方が良いと思った。</p>	<p>160名しか寝られないので他の避難所への誘導や地域での助け合いはとても重要だと思った。</p>	
<p>・ツアーに参加してこと細かに説明が大変だったと思います。 ・町会の避難所開設時の流れが良く分かり勉強になりました。</p>		<p>地域の防災意識が強く、内容が進歩していることに感心した。</p>
<p>ツアーに参加して、発電機に使うガソリンを常にチェックしておかないとならないことや備蓄倉庫内の消味期限のチェックをするのが必要だと痛感しました。これは家庭でも心がけなければと思いました。食料も初めて見たせんべいやアレルギー用クッキーなども取り入れたいと思います。</p>		<p>シューターはちょっと怖くて下りられるか疑問です。</p>
<p>・避難所開設ツアーの案内係の説明では、開設責任者たちが当初、倉庫の備蓄品避難所の設備をきちんと把握していなかったことに直面してから災害が起きた時の状況を考え始めて改善に取り組んだという話を聞きました。その後、定期的に点検や備蓄品を交換するようになり、実際災害が起きた時にこの学校では安心して避難できると感じました。 ・巡回診療での体験について、日本語が話せない住民に対して、診察時でコミュニケーションができるように翻訳(音声)アプリの使用は良い考えでした。だが、使用するといろいろな問題が発生して改善が必要と感じました。日本語から外国語(ポルトガル語)に訳す時、それほど問題はなかったが、逆の場合、外国籍の声をきちんと聞き取れなくて異なった言葉や文書になったり、訳した文書も異なってしまいました。途中から文字を書く方法も試しましたが、時間がかかり過ぎて診察が混乱しました。 ・身近なもので救命救急コーナーでは、自分の回りにあるものを使用してけが人の対応と転倒家具からの救出コーナーでも回りのものを使用して家具を動かす方法で救助を待たずに救出の紹介ができてとても参考になりました。</p>	<p>・避難所で泊まり体験や季節に合わせて(特に夏と冬の時期)の訓練 ・炊き出しの時に備蓄品のアレンジ食の紹介コーナー ・外国人の受け入れ体験コーナーも取り入れる。 ・(疑問として)実際災害が発生した時に似た状態での訓練も必要ではないか?</p>	